

## 第3章

# プログラム実施スケジュール

## 1 学生募集説明会の実施

平成 26 年度の派遣学生募集は、平成 25 年度末より開始した。以下、説明会実施スケジュールである。

### ▶早期募集説明会（平成 25 年度に開催）

	開催日	備考
①	平成 26 年 1 月 20 日(月)	約 20 名の学生が参加した。教育学部・研究科生はそのうちの 8 割を占めた。
②	平成 26 年 2 月 5 日(水)	

### ▶H26 年度募集説明会

	開催日	備考
③	平成 26 年 4 月 11 日(金)	教育学部棟・工学部棟・園芸学部棟にて、昼休み(12:10~)と夕方(18:00~)の異なる時間帯に実施し、約 60 名の学生が参加した。
④	平成 26 年 4 月 14 日(月)	
⑤	平成 26 年 4 月 15 日(火)	
⑥	平成 26 年 4 月 16 日(水)	
⑦	平成 26 年 4 月 17 日(木)	

### ▶追加募集説明会

	開催日	備考
⑧	平成 26 年 7 月 10 日(木)	学生募集は事前授業開始前に一度締め切ったが、後期派遣への参加を希望する学生を対象にした説明会を実施し、約 25 名の学生が参加した。
⑨	平成 26 年 7 月 14 日(月)	
⑩	平成 26 年 7 月 15 日(火)	
⑪	平成 26 年 7 月 16 日(水)	

本年度より、学生一人一人が受け取る新年度ガイダンス資料に、説明会開催日を記載したチラシ（次頁）を同封してもらい、より多くの学生へ周知できるようにした。また、開催場所を教育学部棟のみならず、工学部棟や園芸学部棟に設けたことにより、他学部・研究科生が足を運びやすいようにした。



グローバルマインドを養い 躍動する **ASEAN** へ



文部科学省 大学の世界展開力強化事業 平成26年度  
**ツインクル**  **プログラム説明会**

**TWINCLE**とは？

ASEAN諸国に滞在し、(2週間～数ヶ月)現地高校生に自らの研究テーマを題材にした科学や日本文化の授業を行います。  
 異なる学部・研究科の学生とが協働して授業を作成すること、英語力を養うため事前にブリティッシュカウンシルの授業を受けることを特徴とする、海外インターンシッププログラムです。

★事前研修や現地活動の内容について  
 学生の体験談を交えて説明します  
 長期休暇中に、海外での経験を積みませんか？

★開催日時・場所

4月11日(金) 昼休み(12:10～)

4月14日(月) 18時～

4月17日(木) 昼休み(12:10～)

教育学部2号館1階 2111号室

《出張説明会開催》

4月16日(水)18時～ 工学9号棟106教室

- インドネシア
- タイ
- ベトナム
- シンガポール
- カンボジア に派遣予定

主催 千葉大学教育学部

お問い合わせ先

教育学部1号館2階 TWINCLEオフィス

043-290-2513 / edu-twinkle@chiba-u.jp

## 2. 受入れ・派遣スケジュール

昨年度同様、受入れを派遣の前に実施する計画を立て、派遣予定の千葉大の学生と交流して協働で教材を作成するプログラムを実施できた。派遣は主に前期（8月～9月）と後期（2月～3月）、受入れは2週間のトライアルコースは前期（6月）と後期（10月）に、その他研究室とのパートナーシップに基づくロングコースの受入れを随時行った。表1・表2は受入れおよび派遣のスケジュールと人数を示したものである。

表1 学生受入れスケジュールおよび受入れ人数

インドネシア	インドネシア大学	6/16~26(4名)	
	ウダヤナ大学		10/6~16 (10名)
	ガジャマダ大学	6/2~12 (4名)	
	バンドン工科大学	6/16~26(4名)	
	ボゴール農科大学		10/6~16 (4名)
タイ	チュラロンコン大学	6/2~12 (4名)	
	キングモンクット工科大学ト ンブリ校	6/2~12 (10名)	
	マヒドン大学	6/16~26(4名)	
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校教 育大学		10/6~16 (4名)
シンガポール	ナンヤン理工大学	なし	
	2週間以外の長期受入れ	各大学より、計18名	

表2 学生派遣スケジュール（トライアル・ショート含む）

インドネシア	インドネシア大学	9/8~9/21(10名)	
	ウダヤナ大学		3/2~3/15 (8名)
	ガジャマダ大学		2/16~3/1 (8名)
	バンドン工科大学	9/8~9/21 (8名)	
	ボゴール農科大学		2/16~3/1 (6名)
タイ	チュラロンコン大学	8/18~8/31 (9名)	
	キングモンクット工科大学ト ンブリ校	8/25~9/7 (13名)	
	マヒドン大学	8/25~9/7 (4名)	
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校教 育大学		3/2~3/15 (8名)
シンガポール	ナンヤン理工大学		3/2~3/12 (4名)
カンボジア	王立ブノンベン大学		3/2~3/11 (2名)

### 3 渡航前授業の実施

昨年度までに、後期派遣の学生は、卒論や修論等のために派遣直前に多忙であることが分かった。そこで、本年度には、後期派遣学生も基本的に前期学生と一緒に、5月から渡航前事前授業を受講させることにした。学生による授業づくりに直接関係する授業は、全30コマ分であり、3つのパートから構成されている。すなわち、授業テーマと概要を決定する部分、ASEAN連携大学の学生と協働して活動する部分、そして派遣直前に模擬授業を行う部分である。模擬授業では、ブリティッシュカウンシルの教員と本学教員とが連携し、一体となって学生指導に当たった。その他に、学生ユニットごとの個別指導も実施した。授業日程は、次頁表1を参考されたい。

また、各ユニットの授業づくりに当たっては、教育学的観点および科学的妥当性確保の観点から、教育学を専門とする教員と理系を専門とする教員の両方から指導するWメンター指導体制を確立した。これにより、学生は両観点からより良い授業開発することが可能となっただけではなく、より多くの教員と議論する機会を得たのである。平成26年度分の学生の授業トピック一覧と、メンターは表2の通りである。

派遣先での学生の安全確保の観点から、本学教員による現地安全指導に加えて、旅行医学を専門とする外部講師による安全指導も実施した。この指導は、前期派遣直前に行ったが、後期派遣の学生も必修とした。

表1 渡航前事前授業の日程

前-後期共通授業		2限(10:30-12:00)	3限(12:50-14:20)	4限(14:30-16:00)	5限(16:10-17:40)	6限(18:00-19:30)	7限(19:30-21:00)	教室	
2014/5/10	Sat	ガイダンス	ASEANにおける教育 (島橋)	理科授業づくりの視点 (大島)	海外から見た日本文化 (エイプリル)			2112	
2014/5/12	Mon					授業づくり1		2203	
2014/5/15	Thur					授業づくり2(自習)		2203	
2014/5/19	Mon					授業づくり3		2203	
2014/5/26	Mon					授業発表会1-1		2201・2202・2203	
2014/6/2	Mon					授業発表会1-2		2201・2202・2203	
		6月個別指導1コマ分(メンター教員)							
		7月個別指導1コマ分							
<b>ASEAN学生来日時授業</b>									
第一週	Mon	来日							
	Tues				授業発表会2	ウェルカムパーティ(生協食堂)		2111	
	Sat		授業づくり4(12:50-14:20)	TWINCLE Conference(14:30-17:00)				2111	
第二週	Wed					授業づくり5		2208	
	Thur		留学生のプレゼンへ参加					①2208②2208③2111	
<b>渡航前授業</b>									
<b>前期派遣</b>									
2014/8/2	Sat	模範授業			渡航前安全指導 外部講師来学予定)			2201・2202・2203	
2014/8/7	Thur				模範授業			2201・2202・2203	
		6月個別指導2コマ分							
<b>後期派遣</b>									
2015/2/7	Sat	模範授業			渡航前安全指導			2201・2202・2203	
2015/2/12	Thur				模範授業			2203・2204・2205	
		2月個別指導2コマ分							
<b>ファイナルプレゼンテーション</b>									
2015/3/21(予定)	Sat	準備	ファイナルプレゼンテーション			懇親会			

表2 平成26年度後期・ツインクルプログラムメンター指導

学生ユニット(派遣先)	トピック(概要)	担当教員
A (チュラロンコン, タイ)	光通信 (Optical Communication)	飯塚先生
B (チュラロンコン, タイ)	活性炭素を用いた水質浄化 (Activated carbon)	藤田先生
C (チュラロンコン, タイ)	今後の農業における水耕栽培の可能性「どのような植物工場が考えられるか？」	辻先生
D (キングモンクット, タイ)	骨形成のメカニズム (生化学的アプローチ) (Life and Bone)	野村先生
E (キングモンクット, タイ)	光多重通信 (Optical multi-channel)	飯塚先生
F (キングモンクット, タイ)	Creat a next generation display. Electra Chromism	酒井先生(融合)
G (マヒドン, タイ)	脳腫瘍患者とその家族の支援体制	高木先生
H (インドネシア, インドネシア)	電離層現象と社会生活 (電離圏における擾乱)	加藤先生
I (インドネシア, インドネシア)	風とは何か? (風を可視化するメリット, 衝撃波等について)	板倉先生
J (パンドン工科, インドネシア)	3Dデータの取得と利活用	山下先生
K (パンドン工科, インドネシア)	クリープ現象 (高温・高圧下での発電技術 (超超臨界圧発電技術) の確立のために)	林先生
L (ガジャマダ, インドネシア)	竹炭 (Charcoal) (炭とその活用について)	大和先生
M (ボゴール農科, インドネシア) P (ベトナム教育, ベトナム)	「まち」の再生 (自然災害からの復興と都市計画)	鶴岡先生
N (ウダヤナ, インドネシア)	脳の機能と脳波 (人間工学的に最適なシステムかどうかの測定装置の開発)	杉田先生
O (ウダヤナ, インドネシア)	高電圧・光電解現象を利用した環境改善技術 & エコロジー	山野先生
R (ボゴール農科, インドネシア)	高分子薄膜の開発 (オリゴペプチドを含む両親媒性分子が形成する超分子フィルム の機械強度測定)	林先生
S (ガジャマダ, インドネシア)	電磁波の挙動 (ミリ波集積回路への応用を目的としたポストウォールウェーブガイド を用いた無反射終端の開発)	飯塚先生
T (ベトナム教育, ベトナム)	触媒: 植物からガソリンを生成するための基礎研究 (バイオマス由来化合物の燃料 物質への変換反応)	辻先生
U (ナンヤン理工, シンガポール)	Optical Communication & 多目的最適化問題の対話型解法	加藤先生
V (プノンペン, カンボジア)	3次元情報取得のためのデジタル顕微鏡の開発	飯塚先生

## 4. 成果報告会

期日：平成 27 年 3 月 21 日（土）

発表者：平成 26 年度前期及び後期派遣学生（計 21 ユニット）

参加者：ASEAN 連携大学及び受入高校教員等，外部評価委員，千葉大学教職員，  
高校生および高校教員

発表形式：ポスター発表，パワーポイントによる 1 分間プレゼンテーション

言語：英語

その他：優秀発表賞として「TWINCLE Award」を最優秀ユニットに授与した。高校生を対象とした科学プログラム「大学教育再生加速プログラム AP テーマⅡ 国際交流会 with TWINCLE」が共催し，高校生 50 名程度と引率の高校教員も参加した。

